

情報ステーション



城山地区
シンボルマーク

しろやま

第18号

2002

成人式

平成14年成人式(i)は、近年にない快晴に恵まれました。
 司会は久保田茜さんと小久保洋右さん(ii)、記念品受領は
 成田真由子さん(iii)、誓いのことばは阿部雄一さん(iv)。
 今年は新成人の方も地域の人たちと一緒に受付を担当し
 てくれました(v)。
 式典終了後、記念事業として、恩師との記念撮影、懇談
 会が和やかに行われました。



i



ii



iii



iv



v

人生の意義ある成人式、地域一体となって祝福、激励しました。ひとり一人が大人になったと
 という自覚を持ち、未来をみつめて、大いに羽ばたいていただくことを期待します。

城山中学校区会場 実施委員会

委員長 大柿 正人 (城山公民館長)

城山地区体育祭・秋季スポーツ大会結果

「スポーツの秋」を飾ったイベントの結果は、次のとおりです。
皆様お疲れさまでした。



体育祭 (10月7日)

優勝 古賀志自治会
準優勝 田野自治会
3位 東駒生自治会



秋季スポーツ大会 (11月25日)

	バドミントン	簡易バレー	卓球
優勝	野尻Bチーム	西の宮チーム	古賀志チーム
準優勝	野尻Aチーム	野尻チーム	東駒生チーム
3位	ニュータウン 駒生チーム	古賀志チーム 田野チーム	荒針チーム 上中福岡チーム

城山地区文化祭・農業祭

11月10～11日の2日間、「城山地区文化祭・農業祭」が開催されました。
抜けるような青空の下、たくさんの方で賑わい、バンド演奏をはじめ、日舞や歌、大正琴等の演奏、絵画や工芸品等の作品展、模擬店や農産物の即売に楽しいひと時を過ごしました。



城山地区食生活改善推進員協議会は、地区市民センターと協力し、「城山地区1万歩マップ」の作成を進めています。

市営駐車場を起点としたコース(7月11日)に続き、森林公園を起点としたコースの現地探査を11月16日に行いました。さわやかな秋晴れのなか、歩数や距離の計測、目印の確認をしながら、約8km(森林公園～田野～多気不動尊～下野萩の道～森林公園)を歩きました。

◆お知らせ◆



4月から公民館の名称が変わります

皆様に親しまれた「公民館」の名称が、市民の生涯にわたる学習を支援する拠点として、4月から「生涯学習センター」に変わります。

《詳しくは次号》

しゃぼん玉公演

毎年行われている地域の読み聞かせ団体「しゃぼん玉の会」公演会が1月26日に地区市民センターで行われました。「しゃぼん玉の会」のメンバーと城山中学校の生徒さんによる紙芝居やゲームを交え、「おはなしキャラバンくぐつ座」によるパネルシアターや人形劇“まんまるパン”を鑑賞。約70名の幼稚園児・小学生が読み聞かせの世界を楽しみました。



少年ふるさと教室

同じ1月26日、第4回少年ふるさと教室が地区市民センターで開催され、昔懐かしい、そして、今またブームの、ペエゴマに挑戦しました。男の子も女の子も、先生にひもの巻き方を教わり、見よう見まねで、それっ！うまく回ると、あちこちで歓声があがっていました。



うまく回るかな



第3回少年ふるさと教室の様子
(折り紙で作るリース)

まちづくり講演会のお知らせ

茨城県大洋村では、「健康文化の創造」をスローガンに地域づくりを進めています。その先頭に立つ石津村長のお話を聴いて、心も地域も元気になりましょう!! 多数の皆様のご参加をお待ちしております!!!

- テーマ：元気になるまちづくり
～大洋村における21世紀型の村おこし～
- 講師：茨城県大洋村村長 石津 政雄 氏
- 日時：平成14年2月23日(土)
午後1時～3時
- 会場：城山地区市民センター 1Fホール
※入場無料
- 申込方法：城山地区市民センター(電話 028-652-4794)へ、
直接または電話でお申込ください。(定員100名)

まちづくり講演会
主催 城山地区市民センター

元気になるまちづくり
～大洋村における21世紀型の村おこし～

講師 茨城県大洋村村長 石津 政雄 氏

●日時 2月14日(土) 午後1時～3時

●会場 城山地区市民センター 1Fホール (入場料: 定員100名)

●申込先 城山地区市民センター (電話 028-652-4794)へ
入場料、定員は随時予約済みでございます。

城山地区市民センター(〒305-0852) 028-652-4794
 城山地区市民センター(〒305-0852) 028-652-4794
 城山地区市民センター(〒305-0852) 028-652-4794
 城山地区市民センター(〒305-0852) 028-652-4794
 城山地区市民センター(〒305-0852) 028-652-4794

大谷 近い昔の旅

～廃線を歩く 第3回～

大垣英三さん(大谷町)より、貴重な写真・記事を提供頂きました。

宇都宮石材軌道会社の
発着駅の風景(大正八年)



大谷から田下に通じる道路は、稲荷山の下を通る。

藤の花で有名「金銘水」「銀銘水」のあった所“遊樂園”は知る人ぞ知る。

大谷石の“遊樂園”の碑の近く、大谷寺の西側、交差点に昔あった、宇都宮石材軌道会社の発着駅の風景もめずらしい。

昭和のはじめまで、大谷石の輸送や、大谷多気不動尊参拝、桜通りのお花見に、近郊の人々に利用されました。



同じ場所は現在…

下荒針町 沢田宗一さん
久々に登頂したる戸室山
故郷の山河いつ見てもよし
老いるとも声はりあげて半日の
ゲートボールは生きる糧なり
シルバーが郷の社の草刈りを
朝よりいでて掃き清めたり
為政者は志士の気概で世直しを
果たさんなれば前途危ふし

田野町 杉浦金吉さん
冷え冷えと肌に沁みいる冬の朝
寒さに堪えて咲きし山茶花
実の熟れし柿をついばむ百舌鳥の
飛び立つばかり人影恐る
大正昭和平成と生きし幸せ思ふ日の
むなしく逝きし友の忘れむ

駒生町 渡辺義伊さん
清流に江黄舞散る秋さびし
鬼鬼怒の朝日に映える江黄樹

投稿

コーナー

俳句サークル「木曜会」

掃きゆくと風吹き戻す落ち葉かな 阿部久人
一病を冬夕焼けに託したり 入江ツヤ
ほうとうもワントンも好き冬の夜 大場艶子
傘さして孤着て寒の菊咲けり 大垣ミツ
赤レンガ残る校庭冬さくら 大垣英石
ひと筆に柚子の香りを描きけり 菊地文子
深い闇いつ抜け出るか年暮る、 倉松静子
煮凝りの母の好物母の声 半田ツネ
星冴えて吐く息白し月明り 野口鶴瀧
枯園に噴水の穂の疎らなる 野上 哲

平成6年7月、公民館活動の一つとして故関口碧先生を講師に俳句教室発足、その後大竹一耕氏、大出蕭々子氏等に師事し現在に至る。城山俳句、木曜会という。会員10名、例会各月第三木曜日を原則に、四半期ごとに県内各地を吟行する。

城山地区の人口(平成14.1.31)

● 総世帯数 8,164 世帯 ● 総人口 23,143 人
● 男: 11,466 人 女: 11,677 人



編集・発行

城山地区市民センター

〒321-0345 宇都宮市大谷町1059番地5
電話 028-652-4794 FAX 028-652-5570

◎ 元旦の朝、初日の出を拝もうと戸室山へ。入れ替り立ち替り20人ほどが朝日を待ちました。西の方は奥白根まで見えました。爽やかな年明けでした。(今)